



平成 27 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 佐々木 朗  
 (コード番号 5541 東証第 1 部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 菅井 一之  
 (TEL 03-3201-6681)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 27 年 2 月 3 日に発表した平成 27 年 3 月期通期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ●業績予想の修正について

##### 1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 27 年 2 月 3 日発表)	百万円 61,591	百万円 △5,509	百万円 1,211	百万円 △72	円 銭 △0.37
今回修正予想 (B)	61,225	△7,787	△91	△1,611	△8.26
増 減 額 (B-A)	△366	△2,278	△1,302	△1,539	
増 減 率 (%)	△0.6	—	—	—	
(参考)前期実績(平成 26 年 3 月期)	56,408	△4,079	△1,838	△6,149	△31.51

##### 2. 修正の理由

連結業績予想については、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、期の後半にかけて需要に一部弱めの動きも見られる中でフェロニッケルの販売数量は一定の数量を確保しましたが、一方で、フェロニッケル製品の価格形成の指標となる当社適用 LME ニッケル価格は、供給過剰懸念は常態化しており、原油価格安・ドル高の影響等もあり、上昇基調に転じることはなく、低調に推移しました。

さらに、フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の調達において、インドネシア鉱石禁輸等に伴いニッケル鉱石購入価格が従来価格より高値で推移した影響が収益を抑制しました。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)前提条件の修正

	販売数量(T)			生産数量(T)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成 27 年 2 月 3 日発表)	18,216	13,768	31,984	15,727	14,066	29,794
今回発表予想	18,216	14,058	32,274	15,727	13,923	29,650
(参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	16,187	21,614	37,801	—	—	—

	適用 LME ニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成 27 年 2 月 3 日発表)	8.10	7.49	7.84	102.30	113.10	106.95
今回発表予想	8.10	7.15	7.69	102.30	114.76	107.73
(参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	6.76	6.39	6.55	97.64	100.77	99.43

以上